



令和6年度「前期 学校評価アンケート（結果）」と「学校運営協議会（助言）」

生徒・保護者の皆様には、Google フォームによるアンケートにご回答いただきありがとうございました。アンケート結果および分析を、学校運営協議会（コミュニティスクール）に諮り、結果や分析についてのご意見、改善に向けてのご助言を頂戴しました。これらの結果、ご意見・ご助言を令和6年度後期の教育活動の改善と具体的な取組の立案・実行に活かしてまいります。

アンケートの回答…①あてはまる ②どちらかというあてはまる ③どちらかというあてはまらない
④あてはまらない ⑤わからない（※⑤は保護者アンケートのみ）
各符号… ◎ {各重点の目標} ・ {学校運営協議会助言等} ☆ {改善策(後期に向けて)}

(1) 確かな学力の定着

◎学習指導要領の趣旨に沿い、生徒が学びの広がりや深まりを実感し、自己の変容を自覚できる授業を実践する。

教員『わかる授業、達成感のある授業となるように努めた』（①+②）

R5.7月：100% R6.7月：100% A:95%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:80%未満

生徒『学校の授業がわかる』（①+②）

R5.7月：87% R6.7月：90% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは、授業がわかりやすいと言っている』（①+②）※「⑤わからない」15%

R5.7月：66% R5.7月：59% A:80%以上 B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満

[学校運営協議会]

- ・「家で親に聞いてごらん」という問いかけや課題を出すのも1つの方法で、それをきっかけに授業や学校の様子が伝わっていくこともあるのではないか。
 - ・中学生になると、子ども自身が親に話すことが少なくなるので、数値にとらわれないことも大切か。
 - ・多忙化の中で、会議時間確保が困難であるが、15分・20分のように、時間を区切った設定も効果的か。
- ☆生徒が家で語りたくなるような学ぶ喜びを感じる授業を目指し、教師主導ではなく生徒の声が聞こえる生徒主体の授業づくりに努めます。
- ☆ICTを効果的に活用し、生徒の理解度に応じた問題やヒントを準備するなど、どの生徒にも分かる・達成感のある授業を目指し、個別最適な学びの充実を図ります。

(2) 豊かな心の育成

◎生徒が自らの良さや成長を実感できるよう、取組の目的・目標を明確にし、質を向上させる。

教員『いじめに対する未然防止の指導や事後指導を丁寧に行った』（①+②）

R5.7月：100% R6.7月：98% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『学校はいじめを許さず、いじめの解決に向けて対応してくれる』（①+②）

R5.7月：94% R6.7月：92% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『学校はいじめの未然防止や早期発見、適切な対応に努めている』（①+②）※「⑤わからない」48%

R5.7月：44% R6.7月：40% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

教員『学校行事や生徒会活動が生徒の主体的活動になるよう指導した』（①+②）

R5.7月：97% R6.7月：88% A:85%以上 B:75%以上 C:65%以上 D:65%未満

生徒『学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる』（①+②）

R5.7月：90% R6.7月：90% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

生徒『自分は学校の一員だと感じている』（①+②）

R5.7月：92% R6.7月：94% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

保護者『お子さんは学校行事や生徒会活動に取り組んでいる』（①+②）※「⑤わからない」10%

R5.7月：85% R6.7月：83% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満

[学校運営協議会]

- ・自宅に持ち帰っての「いじめ防止アンケート」実施は、保護者の目に触れ、いじめ防止に向けての学校の取組を知らせる良い手立てである。
- ・HPを見ている保護者は多いと思うので、些細なことでも更新していくことで、保護者が学校行事や生徒会活動について知る機会が増えていくと思う。

☆自宅でアンケートを実施する際には、保護者連絡配信で事前に知らせることで、いじめ未然防止の取組を周知します。併せて、生徒との懇談や保護者連絡を、担任だけではなくチームで対応します。

☆オンライン集会の充実を図り、生徒が積極的に生徒会・委員会活動について発信できる場の設定に努めます。併せて、生徒の活動の様子を、HP等で発信していきます。

(3)健全な体の育成

◎生徒が自己の健康と安全への意識と実践力を高めることができるようにする。

教員『部活動に係る活動方針に従って活動している』(①のみ)			
R5. 7月 : 82%	R6. 7月 : 72%	A:80%以上	B:70%以上 C:60%以上 D:60%未満
生徒『部活動に積極的に取り組んでいる』(①+②)			
R5. 7月 : 89%	R6. 7月 : 91%	A:90%以上	B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満

[学校運営協議会]

- ・部活動を通して、生徒の挨拶が良くなっているように感じる。
- ☆「部活動に係る活動方針」の、生徒・保護者への積極的な周知を行い、併せて達成できなかった項目を把握し、後期の活動に生かします。

(4)持続可能な学校教育の体制づくり

◎安全安心で愛情あふれる学びがいのある学校づくり、働きがいのある学校づくりを進める。

教員『保護者との連携について意識的に取り組んだ』(①+②)			
R5. 7月 : 100%	R6. 7月 : 95%	A:90%以上	B:80%以上 C:70%以上 D:70%未満
教員『本校の業務改善は進んでいる』(①+②)			
R5. 7月 : 83%	R6. 7月 : 90%	A:90%以上	B:75%以上 C:60%以上 D:60%未満
教員『時間外勤務時間』(月平均時間)			
R6. 4月 B (59h)、5月 B (55h)、6月 B (57h)、7月 A (44h) ⇒ B			
A:45h以下 B:60h以下 C:70h以下 D:70hより多い			

[学校運営協議会]

- ・採点アプリ等の利用で勤務時間も減り、何よりも先生の負担感が減っているのは効果的である。
- ☆年度始めや学期末などの繁忙期には、計画的に授業時数を調整し、業務時間確保に努めるとともに、年間を通して標準授業時数を大きく超えないように、見通しをもって時間割を組んでいきます。

◆[自由記述欄]について

アンケートの『自由記述欄』には、51件の記述をいただき、ありがとうございました。ご意見、疑問に思われたこと、感謝のお言葉など様々でした。改善策(☆)を通して全てに回答できませんでしたが、いただいたご意見等は、より良い学校づくりのための参考とさせていただきます。

子どもたちのよりよい成長のための相談事などございましたら遠慮なくご連絡ください。今後とも、本校の教育活動に、ご理解・ご協力をお願いいたします。

布水中学校のホームページにも学校生活のようすを随時記載していますので、ぜひご覧ください。	
学校への質問やご意見などがございましたら下記へどうぞ。	
連絡先	076-248-0039 (担当 教頭 南・主幹 東方)
メール	fusuityul@ed.city.nonoichi.ishikawa.jp